

アラカルト

育

水 医療

シニア

食・エコ

旅・趣味

スタイル

飲み忘れ防ぐパッチ剤

アルツハイマー型認知症で、待たれていた貼り薬タイプの新しい治療薬が発売された。1日1回、一番大きくても五百円玉をちょっと大きくしたぐらいのパッチ剤を皮膚に貼るだけでよい。これまで患者本人だけでなく、介護者にとっても大変だった薬の管理が、目で見える形で確認できる点が喜ばれそうだ。

アルツハイマー型認知症

2社から発売され、ノバリティスファーマが「イクセロンパッチ」、小野薬品工業が「リバスタッチパッチ」と製品名は異なるが、いずれも成分はリバスタグミン。対象は軽度〜中等度のアルツハイマー型認知症患者。

香川大医学部の中村祐教授(精神神経医学講座)は「この薬には経口薬として開発されたときから関わった質のアセチルコリンを分解する二つの酵素の働きを阻害することで、認知症の進行を抑制する。アセチルコリンは、脳全体を活性化する役目をしている。」

「パッチ剤の国内治験は患者859人を対象に行われ、有効性が確認された。記憶などの認知機能評価だけでなく、食事や排せつ、入浴や着脱衣などの日常生活活動(A DL)でも効果

薬管理目で見える形に

てきた。よく効いたが吐き気が強いという欠点があった。そのため治験をいったん中断。その間に海外でパッチ剤開発が進んだ」と話す。

海外では経口薬として販売されているが、日本ではパッチ剤としてだけの販売だ。

薬の成分であるリバスタグミンは、脳内神経伝達物質があることが分かった。A DLで効くことが裏付けられたのは初めて(同教授)。

パッチ剤は、体の背部か上腕部、胸部のいずれかに貼る。経口薬に比べて、嘔吐などの副作用が少ないことや、薬の成分が血中ではほぼ一定の濃度を維持できるといった大きな利点がある。

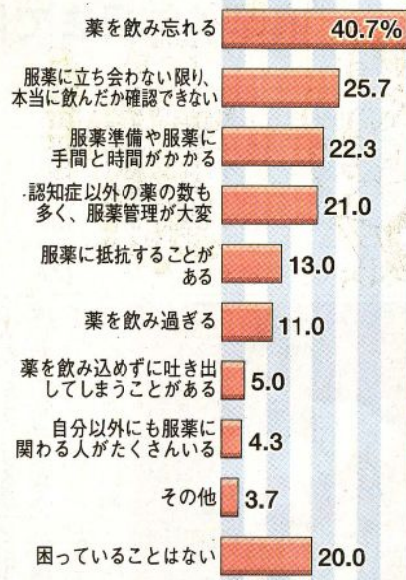
パッチに日付や名前が油性ペンで書き込める上、貼

るのも剥がすのも簡単で、時間も手間もかからない。何といても、薬の管理が目で見えるという簡便さがある。

今回パッチ剤を発売した両社が、インターネットを使って、軽度〜中等度のアルツハイマー型認知症患者(親)を在宅介護している30歳以上の家族300人を対象に実施した調査を実施。薬薬に関して困っていることを複数回答で聞くと、「飲み忘れ」が40.7%

ち合わない限り、本当に飲んだか確認できないこと」25.7%、「服薬に手間と時間がかかる」22.3%の順だった。

アルツハイマー型認知症患者について服薬で困っていること



(複数回答。小野薬品工業などによる)

このため、この2薬とは併用できないが、メモリーとの併用が可能だ。

中村教授は「認知症では、薬の投与は早ければ早いほどいい。早く発見できれば、早い段階から使える」と話している。

アルツハイマー型認知症の治療薬

<経口薬>

アリセプト
レミニール
…パッチ剤と併用不可(働き方が同じため)

メモリー
…パッチ剤と併用可

<パッチ剤>

イクセロンパッチ
リバスタッチパッチ